

## 第37回兵庫県医療審議会地域医療対策部会 議事概要

- 日 時： 令和8年1月30日(金) 10:00~11:00
- 場 所： 兵庫県医師会館6階会議室
- 出席委員： 黒田 良祐 (神戸大学医学部附属病院 病院長)  
小山 香代子 (兵庫県いずみ会 副会長)  
小山 千里 (兵庫県助産師会 会長)  
太城 力良 (兵庫医科大学 理事長)  
谷勝 公代 (兵庫県連合婦人会 会長)  
野倉 加奈美 (兵庫県国民健康保険団体連合会 専務理事)  
平田 健一 (兵庫県病院協会 副会長)  
秋田 穂束 (兵庫県立丹波医療センター 名誉院長)  
飯島 一誠 (兵庫県周産期医療協議会 会長)  
眞庭 謙昌 (神戸大学医学部附属地域医療活性化センター長)

### ● 議 事

#### (1) 重点医師偏在対策支援区域の設定について【資料1】

##### 【論点】

- ・重点支援区域の設定を審議。

##### 【主な意見】

- ・地域別の偏在指標の年次推移の把握や、診療所医師と病院勤務医の区別など、より詳細な分析が必要。
- ・阪神間に研修医が集中しており、地域格差拡大の懸念がある。
- ・高齢医師の勤務時間の縮小など、診療所の開設時間を含む実態把握が必要。
- ・承継支援により病院医師が開業へ流れ、病院側の医師不足が悪化する懸念あり。
- ・新温泉町では眼科・産婦人科が不在となるなど、診療科の偏在も深刻。
- ・医師の開業を無理に抑制すべきではなく、適切な審査が必要。

##### 【結論】

- ・重点支援区域の設定は妥当とし、本部会にて承認。